



あい伸也県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

九十九里地域・南房総地域の水道
用水供給事業体と県営水道の統合

本年4月1日統合へ 3月までに国の事業認可

阿井議員 歴代多くの担当
当局及び関係市町村や関
係団体の皆様、そして県議
会の皆様のご理解とご協力
を頂き、県内水道の統合・
広域連携のリーディングケ
ースである「九十九里地域・
南房総地域の水道用水供給
事業体と県営水道の統合」
が令和8年の4月1日に実
現しようとしている。
そこだろうかすが、4月

1日の統合に向けての今後
のスケジュールと新たに県企
業局のもとにできる用水供
給事業体は、どのような組織
体制(組織・人員・予算等)
で運営されるのか。
知事 統合に向けたスケ
ジュールについては、これま
でに両企業団の解散手続き
や、関係条例の整備を終え
たところであり、今後は水
道法に基づく国の事業認可
に係る申請書を提出し、令
和8年3月までには認可が
得られる見通しとなってい
ます。

どの業務を企業局の管理部
が担い、新たに用水供給事
業の経営や施設整備を担う
専任の部を設けます。また、
企業団職員は、希望者全員
について、現在の給与水準
を保障のうえで、県職員と
して採用することとしてお
ります。さらに、水道部と
の人事交流を活性化させる
ことを考えています。
また、そのほか老朽化対
策や耐震化などの事業に必
要な予算についても精査を進
めており、引き続き統合基本
計画に基づく事業を確実に
実行できる運営体制となる
よう検討してまいります。

12月定例県議会一般質問



県内水道の統合について質問する阿井伸也県議

大網白里市選出の阿井伸也県議(7期)は12月定例県議会に登壇し、
県内水道の統合・広域連携について熊谷知事らに質問しました。阿井
県議は県議1期生だった平成14年2月県議会会で、県内水道料金の格差
について質問、以来、県内水道の格差是正をライフワークとして県議
会で質問を重ね、本年4月1日に九十九里地域・南房総地域の水道用
水供給事業体と県営水道の統合実現までこぎつけました。今回の県議
会では統合までのスケジュールと新たな組織などについて聞き、さら
に、県営水道の料金改定について県執行部に質問しました。

統合後11年目に
料金・収支を統一

阿井議員 現在の両地域
の供給単価に差があること
から、統合後10年間は地域
別料金とするとのことだが、
その後(11年目以降)は料
金を統一し、経理も一本化
する予定だが、具体的にど
のように進めるのか。

大幅に上昇する見通しです。
一方、南房総地域では、
施設が比較的新しく建設事
業費が抑制され、人口減少
は進むものの、末端給水事
業体を受水量を増やす予定
であることなどから、有収
水量はほぼ横ばいで推移し、
総括原価は8年目をピーク
に減少傾向に転じる見通し
です。

総合企画部長 統合基本
計画では、統合後10年間は
料金や収支を区分すること
としており、このうち九十九
里地域では、設備の老朽化
対策や耐震化に要する建設
事業費が増加し、人口減少
等の影響により有収水量が
約10%減少する見込みであ
ることなどから、総括原価は

これらにより、両者の総括
原価が近接していく時機を
捉え、統合後11年目に、両
地域の料金や収支を統一し、
スケールメリットを活かした
経営の効率化を図っていくこ
ととしています。

末端給水事業体の
統合・広域化進展

阿井議員 統合・広域化
の効果を最大限出すために
は、域内の末端給水事業体
の統合・広域化も必須であ
るが、進捗状況はどうか。

れ、安房地域の4事業体は
令和8年4月に給水人口約
12万人の事業体に統合され
る予定であり、また九十九
里地域の4事業体では、経
営の一体化を目指し、協議
が続けられています。

あい伸也県議 PROFILE

- 昭和39年3月27日生まれ
- 大網小、大網中、長生高卒
- 法政大学法学部政治学科卒
- 国会議員公設秘書
- 令和5年4月千葉県議会議員選挙で7期目の当選
- 第73代千葉県議会議員
- 県議会 環境生活警察常任委員会委員
- 県議会 圏央道推進議員連盟会長
- 県議会 スポーツ振興議員連盟会長
- 県議会 拉致問題議員連盟会長
- 県議会 資源エネルギー問題懇話会会長
- 千葉県 水道事業運営審議会委員
- 千葉県 スポーツ推進委員連合会会長

県政や地域に
ついてのご要望、
ご意見をお寄せ下さい

あい伸也事務所

〒299-3251

大網白里市大網155

TEL0475(73)0800

FAX0475(73)1465

ホームページ (URL) <http://www.aishinya.com>

E-mail info@aishinya.com

来年度から赤字転落

県営水道 企業局試算

料金改定なしでと仮定

阿井議員

県営水道の料金改定（引き上げ）が平成8年4月に平均15・9%の引き上げ以来、30年ぶりに行われる議案が今議会に、水道事業運営審議会での審議・答申を経て議案として提出されている。

そこで何うが、平成8年度の料金改定以来、30年間なぜ神奈川県のように段階的に水道料金の引き上げを行ってこなかったのか。

企業局長 前回料金改定を行った平成8年度以降は、管路や浄給水場等の水道施設が、布設や建設から年数が経過しておらず、更新が少ない期間であったため、建設事業費が低く抑えられたこと、さらに、日本全体が長引くデフレで様々な経費が低く抑えられた期間が続いたこと、などが要因と考えております。

再質問

阿井議員 頃、令和8年度

県営水道 次期中期経営計画と長期施設整備方針 評価項目を見直し

阿井議員 次期「中期経営計画」及び「長期施設整備方針」では、大幅な見直しと財政面での厳格化が必要と思うがどうか。

どうか。

企業局長 県営水道では、次期中期経営計画については、5年ごとに、そのときどきの経営環境を踏まえた上で策定しております。また、長期施設整備方針については30年という長期の方針で

しております。

次期中期経営計画については、30年ぶりの料金改定のタイミングとも重なったことから、水道事業運営審議会などでの議論も踏まえて、収支見通しなどの財政面もより精査したものとするな

から赤字に転落し、5年後には100億円を超える単年度赤字と資金残高がマイナス1000億円となることに気がついたのか。

企業局長 ご質問の趣旨としましては、料金改定を

県営水道料金を減免

国の重点支援交付金を活用

再質問

阿井議員 政府の総合経済対策、この生活安全保障、物価高への対応の中で、国の「重点支援交付金」総額2兆円規模が見込まれており、地方公共団体の「水道料金の減免」にも対応するとされている。

県は今回の県営水道の大幅な料金値上げによる利用者の激変緩和措置、軽減とその他水道を利用している県民の生活者支援として、この交付金を活用する気があるのか。

総合企画部長 経済対策を実施するための国の補正

避けられないというような判断をしたのはいつ頃なのか、ということだと思いましたが、昨年度に、令和5年度の決算数値で収支見通し等を試算した結果、大幅な赤字ですとか、資金残高不

足ということがわかってまいりまして、様々な検証をした結果、料金改定は避けられないと判断をいたしました。昨年度の9月議会でご説明を申し上げたところでございます。

また、支援メニューの一つに水道料金の減免が位置づけられていることも承知しています。国から示されたメニ

九十九里沖洋上風力発電

促進区域の指定目指す



洋上風力発電

注目されているのが「洋上風力発電」だ。

私の地元九十九里沖においても、令和4年9月に促進区域の指定の前提となる

「有望な区域」として国に選定され、これまでにユーラスエナジーホールディングスと東京電力リニューアブルパワーの2社が環境影響評価手続きを実施している。

そこで何うが、九十九里沖洋上風力発電の導入に向けた検討の状況はどうか。

商工労働部長 九十九里沖は、風況がよいことから、国から洋上風力発電の「有望区域」とされており、県としても、地域経済の活性化なども期待できることから、洋上風力発電の導入を促進していきたいと考えています。

発電事業を実施するに当たっては、今後、国、県、地元関係者及び有識者で構成される法定協議会での協議を経て、「促進区域」に指定される必要があることから、県では、法定協議会の開催に向け、各漁協や市町、国との調整を進めてきたところです。

県としましては、国や地元関係者等と連携し、法定協議会を年内に開催するなど、洋上風力発電の導入に向け、引き続き、しっかりと取り組んでまいります。

ユーには他にも様々ありますので、物価高騰対策としてどのような事業を実施して

いくのかについては、スピード感をもって検討してまいります。

市町村の水道事業体には 交付金交付し減免を支援

1月15日、県公表

県では、国の重点支援地方交付金（県分）を活用して、県営水道の料金減免を行うとともに、これを機に、経費節減に併せて取り組みます。

また、市町村が運営する県内水道事業体における水道料金の減免を支援するため、交付金を交付します。

所要額について、令和7年度2月補正予算（案）に計上するなど、実施に向けて準備を進めていきます。

県立病院の経営、火の車

11年連続の赤字に



再質問をする阿井県議

また、昨今、医療を取り巻く状況は厳しさを増していることから、県立病院として必要な医療体制を維持していくため、病院経営に関する有識者などの意見

阿井議員 多くの県民に必要な医療、特に高度・特殊な専門医療を扱う「がんセンター」「総合救急災害医療センター」「こども病院」、循環器に関する高度・特殊な専門医療と地域における中核医療を行う「循環器病センター」や地域の中核医療を行う「佐原病院」の五つの病院が県立病院として設置され、県民の健康保持の為に必要な医療を提供している。

一方、その経営状況は大変厳しく、令和6年度病院事業会計の決算は、総収益が556億8千万円、総費用が614億6千万円、その結果、純損失は57億8千万円となり、11年連続の赤字かつ過去最大の赤字幅となっている。それも県の一般会計からの繰り入れが約7

阿井議員 県立5病院の中で、佐原病院や循環器病センターが担っている地域医療に対する医療提供とその赤字経営を今後どのようにするのか。

病院局長 病院局では、本年3月に策定した県立病院経営強化プランに基づき、

患者数の増加による収益確保や、固定経費・材料費の見直しによる経費節減に取り組むこととしています。

今年度はコンサルタントを活用し、新規患者の獲得増や診療報酬収入の増額を目指すなど、引き続き収支の改善に努めているところです。

患者数増加と経費節減

経営健全化へ2本柱

億円増加したにもかかわらず資金不足から27億円の運転資金を借り入れた上での決算である。

そこで何うが、県立病院の本来担うべき役割を県はどのように考えているのか。

病院局長 県立病院では、

高度専門的ながん、救急こども、循環器医療について全県及び複数圏域を対象とした医療機能を担うとともに、佐原病院や循環器病センターにおいて地域における中核医療を担っております。

これらの役割を果たすため、効率的な経営、医療人材の確保・育成、情報提供機能及び災害医療の強化に取り組んでいるところでございます。

引き続き、医療の安全と患者の安心を最優先とする患者の視点に立ったサービス向上を目指し、より一層質の高い医療の安定的な提供に取り組んでまいります。

再質問 阿井議員 地元が県立病院の存続を望むのであれば、地域医療に関する底分の負担を地元を求めるべきではないか。

病院局長 県立病院の経営は極めて厳しい状況でありますが、病院を取り巻く様々な環境の変化に対応するため、まずは、病院局において経営健全化を図っていくことが必要と考えております。

阿井議員 病院局、水道局等の公営事業は早く独法化しないと、病院局は676億円の借金を返せるわけがない。早く独法化をして健全な経営に戻すようお願いしたい。

宿泊税収見込み42億円 担い手確保に活用

阿井議員 昨年の12月議会において、熊谷知事が「県としては、宿泊税は導入することとします」と表明された。その後の議会における答弁などから「観光振興に広域的に取り組むために必要な事業規模を約45億円そのうち約42億円を宿泊税収として見込んでいる。その4分の1に相当する約11億円をすべての市町村に対し、宿泊者数や観光客数に応じて交付金として配分するなど徐々に、その中身が明らかになってきた。

そこで何うが、宿泊税の収を、具体的にどのような観光施策に活用しようと考えているのか。

知事 宿泊・観光の消費は、旅行業を始め、飲食、土産物販、運輸など幅広い産業に波及をし、地域経済を支える役割を果たしていること

から、まずは、事業を継続していただけるよう、宿泊施設等の担い手確保に宿泊税を活用したいと考えています。

宿泊事業者からは、従業員寮の整備やスポーツ採用、合宿施設の空調設置などへの支援を求める声があるほか、県としては、さらに、「施設の高付加価値化やデジタル化、ユニバーサル・インバウンド対応など、施設の魅力が高まり宿泊観光の消費拡大に繋がる取組」国内外から選ばれる魅力的な観光地づくり」などにも活用していきたいと考えています。

施策の検討に当たっては、現在、県内のホテルや旅館、民宿などの事業者と意見交換を継続して行っているところであり、今後、県内各地で実施を予定している説明会でも意見を伺いながら、検討を深めてまいります。

阿井議員 県立病院同様に県内市町村が運営する自治体病院(24病院)も医師・看護師の確保や病院の老朽化による建て替え費用の起債などにより、年々市町村の一般会計からの繰り出しや補助金としての支出が増大しており、なかには、許可病床の返上や廃院や民間への売却を考えている自治体病院もあると聞いている。

そこで何うが、県内自治体の経営する公立病院に対して県は医師を含め、どのような支援をしているのか。

保健医療担当部長 公立病

自治体病院も経営難 廃院や売却検討の病院も

院は、住民の命や健康を守るために重要な役割を果たしていることを認識しています。

そのため県では、医師修学資金貸付制度において、医師の確保を図るべき区域に所在する公立病院への勤務を促すとともに、看護学生への修学資金の貸付けや、看護職員への技術研修等、様々な人材確保策を実施しているところで

さらに、地域の中核的医療機能を担う公立病院が建て替え等を行う場合に、病院の担う医療機能に応じて必要な助成を行っています。

第79回国民スポーツ大会 天皇杯8位、2年ぶり入賞



第79回国民スポーツ大会（滋賀県）セーリング会場へ
応援に訪問した阿井会長（左から2人目）

阿井議員 私達「千葉県
議会スポーツ振興議員連
盟」は、本年9月27、28日
に滋賀県で開催された第79
回国民スポーツ大会「わた
SHIGA輝く国スポ」及
び10月25日・26日に同じく
滋賀県で開催の「第24回全
国障害者スポーツ大会」に

応援・視察に行ってきた。
今回、国民スポーツ大会
は熊谷知事も参加・応援さ
れ、大変盛り上がった千葉
県選手団だった。
また、障害者スポーツ大
会の応援・視察は鹿児島・
佐賀に続く3回目となつた
がやはり、ハンディキャップ

障害者スポーツ・レクリエーションセンター 老朽化で建て替えるへ

阿井議員 障がい者スポ
ーツは、身体的・知的な障
がいを持つ方々の生きがい
であったり、人生の目標でも
あり、その環境整備は重要
な課題だ。

令和2年に、我々「千葉
県議会スポーツ推進議員連
盟」は、当時の森田知事に
対し「千葉県障害者スポ
ーツ・レクリエーションセン
ター」の老朽化と施設の不備

（空調やトイレ等の設備）に
ついて整備の要望書を提出
した。要望から5年になる
もう検討は済んでいるのでは
ないか。
そこで何うが、現在の千葉
県障害者スポーツ・レクリエ
ーションセンターの整備状況
と将来的な建て替えなどに
向けた検討状況はどうか。
スポーツ・文化局長 障

害者スポーツ・レクリエーシ
ョンセンターについては、現在
障害のある方々が快適にス
ポーツを楽しめるよう、体
育室に冷暖房設備を設置す
る工事を進めており、年度
内に工事を完了し、来年度
からの利用再開を目指して
います。
また、令和5年度に取り
まとめたセンターの今後の

あり方では、「冷暖房設備を
設置するため、当面は現セ
ンターを使用しなければな
らないが、将来的には建て
替えが必要で、移設が望ま
しい」との方向が示されたこ
とから、現在、新たな施設
の整備に向けて、候補地の
情報収集等を行っているこ
ろであり、今後、具体的な
規模や必要な機能等を検討
していくこととしています。
引き続き、障害のある方
が生き生きと自分らしくス
ポーツができる環境を整備
できるよう、しっかりと取り
組んでまいります。

阿井議員 第24回全国障
害者スポーツ大会における
千葉県選手団の成績はどう
だったのか。
スポーツ・文化局長 第
24回全国障害者スポーツ大
会では、本県から陸上競技

第24回全国障害者スポーツ大会 88個のメダル獲得

を抱えながらも、懸命に競
技に取り組み選手達の姿に
改めて感動を頂いた。
そこで何うが、第79回国民
スポーツ大会における千
葉県選手団の成績はどうだ
ったのか。
スポーツ・文化局長 第
79回国民スポーツ大会では、
本県から36競技に450名
の選手が参加し、成績につ
いては、冬季大会の結果も
含め、男女総合成績の天皇
杯は2年ぶりの入賞となる
8位、女子総合成績の皇后
杯は3年連続の入賞となる
7位でした。
また、個別の競技では、
水球女子が4連覇を達成
するとともに、弓道成年男
子とアーチェリー少年男子
が初優勝するなど、多くの
競技で優秀な成績を収めま
した。
来年、青森県で開催され
る国民スポーツ大会での天
皇杯・皇后杯の連続入賞を
目指し、競技団体と連携し
て競技力の向上に努めてま
います。

圏央道千葉区間（横芝～大栄） 来年度末の開通に尽力



圏央道駅頭キャンペーン（成田駅）



資源エネルギー問題懇話会会長として
核融合研究施設を視察



圏央道要望活動にて国土交通省廣瀬技官に
要望書を手渡す阿井会長



圏央道推進議員連盟として
県内の圏央道建設現場を視察